

<県産農林水産物の認知度について>

【調査の目的】

福岡県には高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。それらの銘柄の認知度や購入動機等についてのご意見をお聴きし、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

農林水産物のブランド化のための事業効果を把握するため等の基礎資料として活用します。

(農林水産部 園芸振興課)

1 (1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で知っているものを選んでください。
(今年度調査 N=349 複数回答可 回答件数=1,952)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 いちじく「福岡のいちじく」	37.0%	(129名)
2 いちじく「とよみつひめ」	53.3%	(186名)
3 いちご「博多あまおう」	97.1%	(339名)
4 みかん「福岡みかん」	33.5%	(117名)
5 みかん「北原早生(きたはらわせ)」	6.3%	(22名)
6 みかん「早味かん(はやみかん)」	8.9%	(31名)
7 ぶどう「福岡ぶどう」	20.1%	(70名)
8 なし「福岡なし」	18.1%	(63名)
9 なし「玉水(ぎよくすい)」	43.8%	(153名)
10 柿「福岡のかき」	24.1%	(84名)
11 柿「秋王」	23.5%	(82名)
12 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	15.2%	(53名)
13 キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	9.5%	(33名)
14 もも「福岡のもも」	8.6%	(30名)
15 すもも「福岡のすもも」	4.0%	(14名)
16 なす「博多なす」	33.2%	(116名)
17 ねぎ「博多万能ねぎ」	58.2%	(203名)
18 トマト「博多のトマト」	19.5%	(68名)
19 レタス「福岡レタス」	12.0%	(42名)
20 なばな「博多な花おいしい菜」	4.9%	(17名)
21 きゅうり「博多きゅうり」	9.2%	(32名)
22 アスパラガス「博多アスパラガス」	6.6%	(23名)
23 苺菜「博多苺菜」	5.7%	(20名)
24 ブロッコリー「博多ブロッコリー」	6.3%	(22名)
25 知らない	0.9%	(3名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人数	212	137	0	10	1	39	11	41	23	45	29	35	23	30	31	12	19
品目数	6.4	4.1	0.0	3.7	5.0	4.7	2.1	6.0	3.6	7.1	4.7	6.9	4.9	8.9	5.4	5.4	4.9

1 (2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)で知っているものを選んでください。
(今年度調査 N=349 複数回答可 回答件数=2,522)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 米「夢つくし」	82.6%	(323名)
2 米「元気つくし」	85.4%	(298名)
3 ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	48.7%	(170名)
4 しめじ「博多ぶなしめじ」	50.1%	(175名)
5 えのきだけ「博多えのき」	24.4%	(85名)
6 ぬめりすぎたけ「博多すぎたけ」	2.0%	(7名)
7 「県産たけのこ」	21.8%	(76名)
8 「県産しいたけ」	15.5%	(54名)
9 緑茶「福岡の八女茶」	84.0%	(293名)
10 緑茶「八女伝統本玉露」	37.2%	(130名)
11 畳表「博多華織(はかたかおり)」	20.1%	(70名)
12 鶏肉「はかた地どり」	75.9%	(265名)
13 鶏肉「はかた一番どり」	68.5%	(239名)
14 牛肉「博多和牛」	33.5%	(117名)
15 牛肉「福岡牛」	11.7%	(41名)
16 豚肉「博多すい〜どん」	9.7%	(34名)
17 獣肉「ふくおかジビエ」	9.7%	(34名)
18 「県産牛乳」	30.9%	(108名)
19 知らない	0.9%	(3名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人数	212	137	0	10	1	39	11	41	23	45	29	35	23	30	31	12	19
品目数	7.9	6.2	0.0	5.6	9.0	6.7	4.8	8.2	6.3	8.7	6.4	7.9	6.3	9.0	6.4	6.6	6.1

1 (3) 県産農林水産物の銘柄（水産）で知っているものを選んでください。

(今年度調査 N=349 複数回答可 回答件数=1,412)

県産農林水産物の銘柄（水産）	割合（今年度）	人数（今年度）
1 「福岡有明のり」	71.6%	(250名)
2 「豊前海一粒かき」	43.8%	(153名)
3 「糸島カキ」	69.6%	(243名)
4 「唐泊恵比須かき（からとまりえびずかき）」	12.0%	(42名)
5 「津屋崎千軒かき」	9.2%	(32名)
6 「若松妙見かき」	2.9%	(10名)
7 「豊前本ガニ」	17.2%	(60名)
8 「鐘崎天然とらふく」	16.9%	(59名)
9 「カナトフグ」	28.9%	(101名)
10 「夏ふく」	1.4%	(5名)
11 「一本槍（いっぽんやり）」（釣りケンサキイカ）	10.3%	(36名)
12 「博多もずく」	14.3%	(50名)
13 「糸島産ふともずく」	5.7%	(20名)
14 「あかもく」	32.1%	(112名)
15 「弘わかめ（ひろわかめ）」	4.6%	(16名)
16 「金印汐わかめ（きんいんしおわかめ）」	5.7%	(20名)
17 「筑前海加布里産天然ハマグリ（ちくぜんかいかふりさんてんねんはまく）」	1.4%	(5名)
18 「釣りあじちゃん」	5.4%	(19名)
19 「特鮮本鱈」（とくせんほんざわら）	0.6%	(2名)
20 「関門海峡たこ」	30.9%	(108名)
21 アカウニ「海士の種（あまのきわみ）」	2.6%	(9名)
22 「スイゼンジノリ」	10.0%	(35名)
23 知らない	7.2%	(25名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均（年代・男女別）

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人数	212	137	0	10	1	39	11	41	23	45	29	35	23	30	31	12	19
品目数	4.1	3.8	0.0	2.5	4.0	2.7	2.2	3.9	2.4	4.1	3.3	4.4	4.0	5.9	5.5	4.8	4.3

2 生鮮食品を購入するとき、一番重要視することは何ですか。

(今年度調査 N=349 選択は1つのみ)

生鮮食品を購入するとき、一番重要視すること	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 鮮度 (色つやなど)	37.0%	(129名)
2 産地 (国内産、県内産など)	32.4%	(113名)
3 銘柄 (例えば、魚沼産のコシヒカリ、松阪牛など)	2.0%	(7名)
4 栽培方法 (有機栽培や減農薬栽培など)	4.3%	(15名)
5 価格	24.4%	(85名)
6 その他 (次の設問で具体的に記入してください)	0.0%	(0名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他]

なし。

○結果の概要

昨年と比較すると、産地や価格を重視する消費者が増加した。

3 販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物はどのようなものですか。(今年度新規調

(今年度調査 N=349 3つまで回答可 回答件数=833)

販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 高い品質をもつ農林水産物	21.2%	(77名)
2 有名ブランドの農林水産物	4.8%	(40名)
3 メディア等で話題の農林水産物	4.6%	(38名)
4 販売価格が上昇した中でも、比較的安価な農林水産物	21.0%	(175名)
5 県産の農林水産物	10.3%	(86名)
6 愛着がある産地の農林水産物	9.4%	(78名)
7 環境負荷に配慮された農林水産物	3.5%	(29名)
8 安全・安心な農林水産物	25.0%	(208名)
9 その他 (具体的に)	0.2%	(2名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他]

無農薬、減農薬のもの
味

4 県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるものを選んでください。

(今年度調査 N=349 複数回答可 回答件数=1,309)

県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるもの	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 イベントでの試食、展示、販売等	21.2%	(277名)
2 卸売市場や量販店での知事によるトップセールス (試食宣伝)	8.3%	(108名)
3 パンフレット、リーフレット等のPR資料の配布	7.3%	(95名)
4 ポスターの掲示	7.6%	(99名)
5 宣伝用動画の放映等店頭でのPR	6.5%	(85名)
6 テレビCM、ラジオ番組でのPR	16.3%	(213名)
7 インターネット広告やSNS (フェイスブックなど) を活用したPR	10.8%	(142名)
8 ホテルや人気レストランと新メニューの開発・提供	9.1%	(119名)
9 大手食品企業、コンビニ、酒造会社等と連携した新商品の開発・販売	13.1%	(171名)
無回答	0.0%	(0名)

5 県産農林水産物に関するその他のご意見。

(今年度調査 N=349 選択は1つのみ)

県産農林水産物に関するその他のご意見	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 ある (次の設問で具体的に記入してください)	26.4%	(92名)
2 特になし	73.6%	(257名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他 (抜粋)]

認知度向上のために、大人の社会科見学のような体験型のイベントを行うと良い。

大手企業、地元企業とのコラボが一番のアピールになると思う。

一覧になっていてお土産として専用アプリから注文できたりお歳暮・お中元等でも直送しやすいホームページでの販売があると良い。

広報活動をいくらやっても、なかなか認知度は上がらない。実際に食べれる機会を多く提供することが肝要である。

品質第一で安全安心を売りにしていくと関心が上がると思う。

農林水産まつりで初めて、野菜や魚など福岡の物が思っているより沢山あることに気付いた。